

「カール ハーンは、今後もフォルクスワーゲン ファミリーの必要不可欠な一員であり続けます」

- カール ホルスト ハーン(96歳)が2023年1月14日にウォルフスブルグで世界
- カール ハーンは今日の会社の成功への道筋を切り開いた
- 引退後もフォルクスワーゲンやウォルフスブルグ市と密接な関係を維持

ウォルフスブルグ、2023年1月15日 – Prof. Dr. カール ホルスト ハーンが永眠いたしました。元フォルクスワーゲンAG取締役会会長であり、国内外の数多くの企業の監査役会メンバーでもあったカール ハーンは、ヨーロッパで最も重要な企業家の1人でした。フォルクスワーゲン グループとそのサプライヤーに長期的な影響を与えたと共に、住んでいた地域社会に対しても長期間にわたって重責を負っていました。



フォルクスワーゲン AG 取締役会会長(1982年～1992年)を務めた Prof. Dr. カール H. ハーン

フォルクスワーゲン取締役会会長のオリバー ブルーメは、カール ハーンに敬意を表して次のように述べています。

「カール ハーンは先見の明を持っていただけでなく、素晴らしい人格者でもありました。40年間、フォルクスワーゲンが歩むべき道筋を定め、今日の会社の成功の基礎を築きました。米国では、その手腕により、フォルクスワーゲン ビートルがアイコンモデルとなりました。またセールス担当取締役として、プレミアム ブランドであるアウディの設立に尽力しました。比喩的な意味で、カール ハーンは“ゴルフ世代”の立役者の1人となりました。取締役会会長として、フォルクスワーゲンを国際的なマルチブランド グループに発展させ、とりわけ中国市場への参入にあたって戦略的ビジョンを示しました。ドイツの再統一後、ザクセン州はそのリーダーシップの下で、自動車

産業における最先端の場所に生まれ変わりました。フォルクスワーゲン AG とウォルフスブルグは、カール ハーンに多大な恩義を負っており、謹んで哀悼の意を表します。カール ハーンは、今後もフォルクスワーゲン ファミリーの必要不可欠な一員であり続けます。」

カール ホルスト ハーンは、1926年7月1日にケムニッツでカトリックの家系に生まれました。自動車産業に携わっていた父は、DKW が世界最大のモーターサイクル メーカーへと発展することに貢献し、1932年にはアウトウニオン共同設立者の1人となりました。ハーンは第二次世界大戦を無事に生き延び、戦後はドイツ、スイス、イギリスで経済学を学び、フランスで政治学を学びました。1952年には、ベルンで博士号を取得しました。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

1954 年末、28 歳のカール ハーンは、当時のフォルクスワーゲンヴェルク (Volkswagenwerk) GmbH に入社し、ゼネラルマネージャーのハインリッヒノードホフのアシスタントになりました。ハーンは 1959 年に米国に派遣され、フォルクスワーゲン オブ アメリカを築き上げました。他のメーカーの模範となる販売組織を構築し、画期的な広告 コンセプトを導入して、米国市場におけるフォルクスワーゲン ビートルの販売台数を 65 万台以上に伸ばすことに成功しました。

米国での成功により、ハーンは 1964 年 (38 歳) にウォルフスブルグのフォルクスワーゲン取締役会のメンバーとなり、そこでグローバルセールス責任者に就任しました。同年、フォルクスワーゲンはダイムラーベンツからアウトウニオンを買収しました。当時、ハーンは 2 つのブランド戦略を推進しました。1967 年、DKW アウトウニオンは、独自の製品ラインナップと独立した販売組織を持つオーディ ブランドになりました。

1972 年、最初は最高経営責任者 (CEO) としてコンチネンタル AG に入社した後、1982 年にウォルフスブルグに戻り、フォルクスワーゲン AG の取締役会長に就任しました。戦略的決定と企業家としての先見の明と直感により、ハーンは、ウォルフスブルグ本社でフォルクスワーゲンが世界的なプレーヤーになるための道筋を切り開きました。

就任後まもなく、フォルクスワーゲンはスペインのメーカーであるセアトと独占的な協力関係を締結しました。その結果、「Polo (ポロ)」と「Passat (パサート)」の生産をスペインに移転し、ウォルフスブルグで「Golf (ゴルフ)」の生産台数を増やすことが可能になりました。これにより、フォルクスワーゲン グループは収益性が回復し、ヨーロッパで主導的な立場に戻る道が開かれました。フォルクスワーゲンは、1986 年にセアトを買収したことにより、グループは新しい収益性の高いブランドを獲得することになりました。わずか数年後、ハーンはチェコのブランドであるシュコダをグループに迎え入れ、共産主義の崩壊後、中央ヨーロッパ市場でフォルクスワーゲンと共にマーケットリーダーの地位を引き継ぐことに成功しました。

フォルクスワーゲンに在籍中、ヨーロッパの発展に献身的に貢献したハーンは、一貫したグローバル化戦略を追求しました。会長として当初から議題に挙げていた中国市場への進出に関しても、重要な役割を果たしました。ハーンはすべての競合他社に先んじてその可能性を認識し、早くも 1983 年には上海で「Santana (サンタナ)」の試験生産を開始しました。わずか 1 年後、フォルクスワーゲンは中国政府との合弁事業契約に署名し、上海で自動車工場の起工式が行われました。1991 年には長春の中国第一汽車集団 (FAW) と 2 番目の合弁事業を立ち上げ、オーディは中国市場におけるプレミアムメーカーに位置付けられました。

ザクセン州はケムニッツ出身のハーンにとって特別な場所でした。子供の頃から、カール ハーンはこの地域の自動車産業の伝統を肌で感じて成長し、それが提供する大きな可能性を信じていました。ベルリンの壁が崩壊した後、ツヴィッカウに工場を建設し、この地に最初に投資した一人となりました。現在、ツヴィッカウ工場は、フォルクスワーゲンにとって e-モビリティへの移行の旗艦拠点となり、ヨーロッパで最も有力な電気自動車工場として、自動車産業の注目を集めています。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

カール ハーンは、40 年間にわたってフォルクスワーゲンの戦略に永続的な影響を与えてきました。1992 年末、取締役会会長の職を元アウディ CEO のフェルディナンド ピエヒに譲り、同社の監査役会に移り、1997 年 6 月まで監査役会のメンバーとして職務を全うしました。ヨーロッパ出身のコスモポリタンであるハーンは、引退後も活動を続けました。これには、数多くの企業における監査役会での活動と、アウディ、セアト、シュコダの監査役会の名誉会長職が含まれています。

企業家としての成功に加えて、文化的小よび社会的取り組みは広範囲に及びました。ウォルフスブルグ美術館とそれに必要な資金を民間からまかなう活動は、ハーンが先鞭をつけました。また、Antonius-Holling (アントニウス ホリング) 財団、Ilsenburg Monastery (イルセンブルク修道院) 財団、ドイツの Mayo Clinic (メイヨー クリニック) 財団、Volksbank BraWo (フォルクスバンク ブラウオ) 財団の評議員会および理事会のメンバーでした。2006 年、2013 年に亡くなった妻と共に Carl and Marisa Hahn (カール & マリサ ハーン) 財団を設立しました。この財団は、生活に困窮している人々の支援に加えて、幼児教育に焦点を当てています。これは、ハーンがドイツで常に重要視しているトピックでした。

ハーンは、Westsächsische Hochschule Zwickau (ツヴィッカウ西ザクセン応用科学大学) (FH) およびビシユケクの State University for Civil Engineering, Transport and Architecture (州立土木工学・交通・建築大学) (ソフトウェア工学部) の名誉教授であり、Lauder Institute of the Wharton School/University of Pennsylvania (ローダー インスティテュート オブ ウォートン スクール/ペンシルバニア大学) の理事であり、カリフォルニアの Salk Institute (ソーク研究所) およびマドリッド (スペイン) の Instituto de Empresa (IE ビジネススクール) の国際諮問委員会のメンバーでもありました。2014 年以來、ウォルフスブルグのビジネス、行政、健康のための専門学校はハーンの名を冠しています。さらに、約 2,500 人の生徒と 17 のフリースクールを擁するザクセン インターナショナル スクール カール ハーンの名前の由来にもなっています。

英語のプレスリリース: <https://www.volkswagen-newsroom.com/en/press-releases/carl-hahn-was-is-and-will-remain-an-integral-part-of-the-volkswagen-family-15413>

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT



Volkswagen Group Communications | Head of Global Group Communications

Contact Dr. Sebastian Rudolph

Phone +49 (0) 5361 / 9-13125

E-mail sebastian.rudolph@volkswagen.de | www.volkswagen-newsroom.com



Volkswagen Group Communications | Deputy Head of Group Communications & Head of Corporate Communications

Contact Nicole Mommsen

Phone +49- 5361 / 9-26655

E-mail nicole.mommsen@volkswagen.de | www.volkswagen-newsroom.com



About the Volkswagen Group:

The Volkswagen Group, with its headquarters in Wolfsburg, is one of the world's leading automobile manufacturers and the largest carmaker in Europe. The Group comprises ten core brands from seven European countries:

Volkswagen Passenger Cars, Audi, SEAT, CUPRA, ŠKODA, Bentley, Lamborghini, Porsche, Ducati and Volkswagen Commercial Vehicles. The passenger car portfolio ranges from small cars all the way to luxury-class vehicles. Ducati offers motorcycles. In the light and heavy commercial vehicles sector, the products range from pick-ups to buses and heavy trucks. Every weekday, 672.800 employees around the globe are involved in vehicle-related services or work in other areas of business. The Volkswagen Group sells its vehicles in 153 countries.

In 2021, the total number of vehicles delivered to customers by the Group globally was 8.9 million (2020: 9.3 million). Group sales revenue in 2021 totaled EUR 250.2 billion (2020: EUR 222.9 billion). Earnings after tax in 2021 amounted to EUR 15.4 billion (2020: EUR 8.8 billion).
